

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、
令和 7 年 12 月 に開催された協議の場の結果を以下のとおり公表します。

つくば市長 五十嵐 立青

市町村名 (市町村コード)	つくば市 082201
地域名 (地域内農業集落名)	大穂 地区 第 2 区
協議の結果 取りまとめ年月日	令和 7 年 12 月 17 日

【申出案件】

	1	地域計画への位置付け	計	ha
○	2	地域計画からの除外	計	0.0489 ha
	3	地域計画の位置付け内容等の変更		
	4	その他 ()		

【意見書の有無】

令和 7 年12月15日まで開催した協議の場において、不合意と判断する
意見書等の提出はございません。

【協議結果】

協議の場における意見等を取りまとめた結果、地域計画変更等の申し出
内容について、合意となったことから、様式5-1の一部を別添のとおりに
朱書き訂正とします。

※様式5-1の性質上、個人を特定し記載しているものではないため、個々の申し出に対
し、合意内容等の明記はございません。

農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定に基づき、公表します。

つくば市長 五十嵐立青

市町村名 (市町村コード)	つくば市 082201
地域名 (地域内農業集落名)	大穂地区 (第 2 区 前野 篠崎 長高野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 7 年 12 月 17 日 (第 3 回)

注 1 : 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注 2 : 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

畑や芝生圃場が大半を占める当地域では、田（水稻）は機械化が進んでおり設備投資もなされているが、畑は遅れている。販売先や品質劣化を防ぐなどの観点から、少人数での運用は難しい。集約化を検討した際、耕作地が離れている場合はトラクターの運搬などに費用や時間がかかるため、近隣を集約する若しくは中継地点（機材置場）を設ける必要がある。互いに遠くの耕作地を利用している耕作者であれば、耕作地の交換などを行っている現状もある。農地の集約・集積を行った場合、従業員への閑散期給与の支払いなどが難しいという問題もある。地区内で大規模にネギ栽培を行っている耕作者があり、研修生も使って運用しているが、利益面を考えると縮小意向である。芝生圃場としては、造園業（緑化）部門では求人があるが、圃場整備では人手が足りない。個人委託の芝生圃場は、芝生だけでは生計が成り立たないため、田畑の他に芝を行っている実情がある。また、昨今の事情から芝焼ができないため、圃場内に芝の捨て場を作らなければならない、耕作面積が目減りしている。現在、芝の耕作機械等を製作する業者がいらないため、20年前の機械を修理しながら使用しており、中小の芝業者は10年後の継続は難しいと考えている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

当地区の主要農作物米や芝である。田は大区画化が必要と考えるが、畑は「やりたい」「やろう」と考える人が少ないため、農地大区画の検討において地区内で更なる協議が必要である。

(1) 地域の概要

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

(1) 農用地の集積、集約化の方針

（２）農地中間管理機構の活用方針

(3) 基盤整備事業への取組方針

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

耕作しづらい農地などは地主の許可を得て、大手耕作業者（ファーマーズつくばなど）に、お願いすることを検討している。

<input checked="" type="checkbox"/>	鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	スマート農業	<input type="checkbox"/>	畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	果樹等
<input type="checkbox"/>	燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	保全・管理等	<input type="checkbox"/>	農業用施設	<input type="checkbox"/>	耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	その他

ドローンを使用して農薬散布を実施している。また、芝生の自動草刈り機の取り組みを行っている。今後、利用の拡大を地区内で検討していく。